

飲食店における「人と人との距離の確保」について

食事の際にはマスクを外さざるを得ないため、感染拡大防止の観点から「会食時の対応」には細心の注意が必要です。

一方で、昨年来の会食控えにより、現在、飲食店等の経営状況は極めて厳しい状況にあります。

県では、適切に感染防止を行いながら安心して飲食店をご利用いただくため、「新たな会食」のすゝめ」を定め普及に努めています。

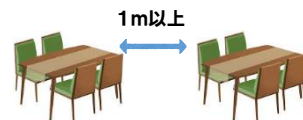
しかしながら、人と人との距離の確保方法については、①店舗の広さや経営形態、②会食するメンバーの状況によって、適切な配席や必要な感染対策が違ってくるため、一歩踏み込んだルールが求められてきました。

このたび、以下の基準(対策の目安)を定めましたので、これを参考に、お店の皆さん、利用者の皆さん双方のご協力により、状況に合わせて適切に距離を確保いただき、「新たな会食」の実践をお願いいたします！

1 基本事項

- 飛沫を飛ばさない・飛沫の範囲内に入らない！
- ウイルスから目・鼻・口を守る！

2 人と人との適切な距離を確保するために



(1) お店の皆さんへのお願い

- **テーブル配置の工夫**:異なるグループ間(テーブルの間隔など)は、1m以上の間隔を確保する。
カウンター席では、カウンター内と利用者との距離を1m以上確保する。
又は、カウンター内の従業員と利用者との間を飛沫防止シート等で区切る。
- **飛沫から守る工夫**:同一グループ(テーブル)内でも飛沫防止パネルで適切にメンバー間を区切る。
又は、1m以上の距離を空ける(真正面の配席を避ける誘導(席の間引き等))。
- **マイクロ飛沫を防ぐ工夫**:こまめに換気する。

(2) 利用者の皆さんへのお願い

① 同居のご家族等(日頃から互いの体調や行動の内容が確認できる仲間)の皆さん及びお一人でのご利用
→ お店の案内に従ってご利用ください。なお、他のグループとの接触は避けてください。

② ①以外のグループでのご利用

- **間隔を確保する実践**:お店の配席に従い、他のグループと1m以上の間隔を維持する。
他のグループとの接触を避ける。
- **飛沫を飛ばさない実践**:テーブル(カウンター)内の飛沫防止パネルを正しく使う。
又は、1m以上の配席距離を空ける(真正面の着席を避けるなど)。
どうしても以上が困難な場合には「マスク会食」^{※1}を行う。
予約の際にテーブルを確認して、人数に応じた適切な配席を検討する。
- **グループ内を守る実践**:事前にメンバーの体調や過去の行動歴を確認して会食の実施を判断する。
併せて、お店に対し、飛沫防止パネルの有無などを確認しておく。



③ 上記①及び②にかかわらず、特に、会話やカラオケを楽しむ場合(スナック、キャバレー等)

- **飛沫を飛ばさない実践**:飲食物を口に運ぶとき以外は、常にマスクを着用する。

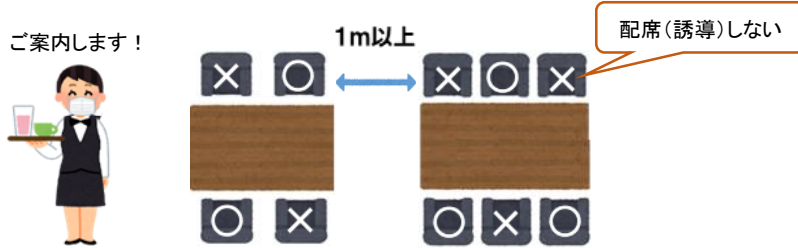
※1 「マスク会食」: 飲食する時だけマスクを外し、会話の際にはマスクをつける会食の仕方

3 店舗における配席（誘導）例

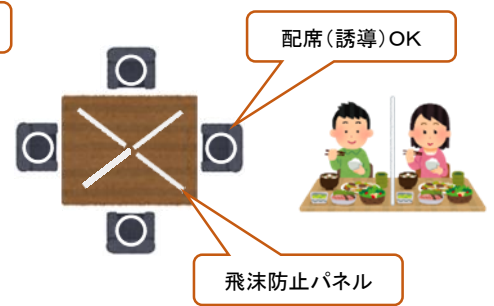
※ 上記2の(2)②「①以外のグループでのご利用」の場合

(1) テーブル(椅子)形式(食堂、焼き肉店、回転寿司、居酒屋、レストランなど)

① テーブル間隔・配席誘導例

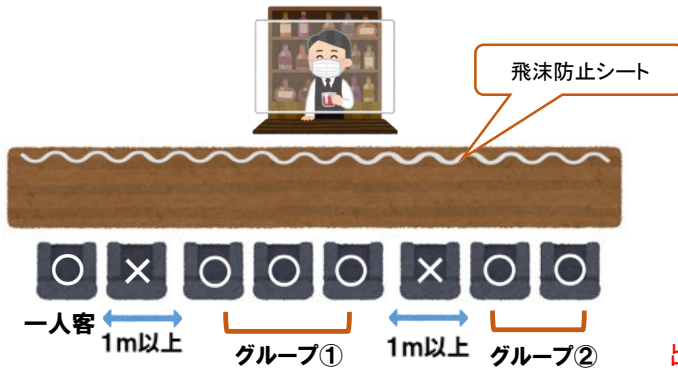


② テーブル席の飛沫防止パネル設置例



(2) カウンター形式(ラーメン、寿司、焼き鳥、ショットバー、カラオケスナックなど)

① カウンター席の配席誘導例



② 飛沫防止シート・パネルの設置例



(3) ソファ・ベンチシート形式(ファミリーレストラン、カラオケスナック、バー、キャバレーなど)

① ベンチシート



② ボックスシート



4 店舗面積が小さいなど、上記の対策が困難な場合の対策

- 【お店の皆さんへのお願い】 ● 飛沫防止パネルの設置徹底 ● 常時換気の徹底
● 利用者の体温・体調の確認徹底 ● 短時間メニューなどの工夫

- 【利用者の皆さんへのお願い】 ● 事前の体温・体調の確認徹底 ● 少人数での来店
● 飛沫防止パネルの正しい利用の励行
● 「マスク会食」*1 又は「黙食」*2 の励行 ● 短時間利用の励行

※2 「黙食」: 飲食しながら会話することで飛沫を発生させないために、黙って食事すること